

普及活動情勢報告（平成30年5月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

農事組合法人梅ノ木ファームの設立総会が開催されました！



5月18日、高知市鏡梅ノ木地区の梅ノ木公民館にて農事組合法人梅ノ木ファームの設立総会が開催されました。この設立総会には、農事組合法人梅ノ木ファーム組合員13名と関係職員11名が出席しました。

設立総会では、議案である法人組織の定款や規定、理事や監事など役員、5年間の事業計画が承認されました。

普及所は、これまで法人組織の設立に向けて、視察研修や研修会の開催など、9ヶ月にわたり支援してきました。

今後も、経営安定や会計、労務の支援を行っていきます。

実績を伸ばせた要因を考え次に活かそう ～JA高知市「なるクラブ」～



分析資料を見て検討中

5月14日、JA高知市女性部加工組織「なるクラブ」のチーム会を開催しました。同クラブは産業振興推進総合支援事業で改修した加工場を活用して、直販所に弁当や惣菜を出荷しています。チーム会では、人件費削減のための調理器具洗浄機の導入について検討したり、産業振興アドバイザーのアドバイス内容を検討し、今後の製造計画を話し合いました。

普及所からは、品目別販売額の昨年との比較や、直販所の来客数となるクラブの商品の販売額との関連性についての分析資料を提示し、実績を伸ばせた要因、今後の課題を話し合いました。

これからも、加工場の有効利用のため、分析の視点を変えながらチーム会開催を支援していきます。

ユズチーム会の取り組みを報告 ～高知市土佐山柚子生産組合 総会～



1年間の活動報告と、今後の活動計画について理解を得ました。

4月20日、JA高知市土佐山支所において高知市土佐山柚子生産組合の総会が開催され、約50名の生産者が参加されました。

総会後の研修会で、普及所より「ユズチーム会の取組について」と題し、果樹経営支援対策事業の説明と、平成29年度の活動報告・30年度の活動計画について報告しました。生産者からは特に高齢化に伴う課題である、新たな担い手の確保・育成や労働力補完に関する取り組みへの意見が聞かれるなど課題への関心が高まっています。

今年度も随時、途中経過を報告しつつ、組合が主体的に動ける方法や体制の持ち方を模索していきます。

ハウスの蒸し込みを徹底しましょう！～黄化えそ病対策巡回～



巡回後の報告会

5月14日および21日、JA高知春野きゅうり部会を対象に、JAと普及所が協力して黄化えそ病対策の徹底を呼びかける巡回を行いました。

普及指導員と営農指導員9名が4班に分かれて合計39戸を訪問し、今作の黄化えそ病の発生状況などを聞き取りした上で、7日間以上の蒸し込みの重要性を呼びかけました。また、薬剤を利用した土壌消毒についても情報提供しました。

普及所は、今回の巡回結果を6月の黄化えそ病対策協議会で報告・協議し、生産者の黄化えそ病対策についての意識向上に取り組んでいきます。

単為結果ナス連絡協議会が開催されました。



4月23日、高知市春野町の雨森芍薬園にて単為結果ナス連絡協議会が開催されました。半促成栽培での実証試験2戸の途中経過が報告され、雨森広志氏育成の春鈴3号の収量は、春鈴ナスに対し多収と少収の両極の結果でした。節間長が短いことから整枝が難しく生産者の評価は今ひとつでした。次年度には春鈴ナスの種子供給がなくなるため、生産者からは春鈴ナスの灯を消したくないと切望する声が聞かれましたが、2年限りで立ち上げた協議会なので一旦協議会を閉じることとしました。

普及所は、今後も後継品種の探索を支援していきます。